

工一同は従前の如く入場して作業を続け一面争議の目的に向つて運動する事に方寸を定め、これ等の具體的方法に就きて引續き慎重協議を重ねたり。而して争議團に於ては目的貫徹のため輿論に訴ふる處ありとして各方面に亘り連連夜演説會を開催し愈々言論戦に移る事となれり。

斯くて二十一日には午前九時及び午後一時よりの二回に亘り造船部主催の下に楠公前日本劇場に於て労働演説會を開催したるが時節柄聴衆場内に溢れんばかりにて盛會を極めたり。定刻に至り和田惣兵衛氏開會の辭を述べ次に幸村、胸永、姫野、橋本、石内、袖久保、松尾、安川、藤田、新井、久留の各辯士交々立つて主として官憲の壓迫を語り最後に賀川豊彦氏は出兵問題の糾弾より轉じて「吾々の所謂工場管理は誤り傳へられつゝあるが如き不應當なるものにあらず」と論結し拍手裡に降壇、労働者萬歳を三唱して五時無事散會したり。又同日正午より兵庫川治座に於て造機工作部主催、尻池旭座に於て兵庫分工場主催の各労働問題演説會を開き會員の五分間演説及び賀川、久留兩氏の演説ありたるが聴衆約五百何れも非常なる盛會なりき。

十二、三菱の偵察戦

上京委員を派遣せる後の三菱争議團に於ては、毎日勤怠簿の調印に依りて結束を鞏固にし英氣を養ふべく川崎と聯合して日程に従がひ運動會を連日舉行する處ありしが、一方罷業資金を得んが爲に行

商家を組織し日用品、雜貨品等の露店を出す事とし、十八日同情デーを行ひたるが時節柄同情者も多く相當の賣行を見たり。然るに一縷の希望を囑せし上京委員の嘆願も同日行はれし最後の會見に於て素氣なく拒絶せられたれば、同争議團幹部に於ても其の對策に就て審議を凝す處ありしが、斯くなる以上は持久的戦法に依るの外方略なく、夫には持久資金獲得のため右の「同情デー」を繼續し飽迄應戦すべしと爲し、二十日より數十組の行商家を組織し、連日兵庫方面の繁華街御旅所筋柳原大佛方面の辻々に日用品、雜貨等の露店を出す事に決したるが、其の成績は豫想外に良好にして一箇所に於て貳百圓以上の賣上を見たる所もありき。

斯る間に七月二十日上京中の安井、井上の兩委員先發として同日午後零時十分突然歸神すべき旨の電報あり、友愛會神戸聯合會よりは堀主事代理以下十數名神戸驛に出迎へ一先づ争議本部に引揚げたるが、安井氏より上京中の交渉顛末に關し左の如き報告ありたり。

何等の土産をも持たずに歸つた事は誠に遺憾です。着京した當日一行は疲勞を押し本社に電話を以て會見を申込んだ所承諾の回答あり直に本社に向ひ、武田社長以下宮川、鹽田外五名の重役と會見し職工側から書記として友愛會本部の松岡氏の立命を申込んだが拒絶され茲に會見に先立ち書記の事に就いて小競合が演ぜられ會見を預合せて終り翌日改めて正式の會見を遣りました。本社も矢張神戸同様要求條件を悉く調査研究中或は工場委員制の如きも近き將來に實施を見るであらうとて突き放し要求書を受理する能はずと刻付くる等極めて冷淡な態度を示した。(只會社の誠意の在る所を職工に告げ就業して會社の行ふ所を見よ)だけでは不明瞭で要するに誠意は毫も認められず交渉を打切る事に決した譯で岩崎男爵にも而會を求めたが到る所玄關拂ひを喰はされたのは残念でした。尙辭視聽は吾々が上京當日非常に嚴重な警戒をしたが二日目から多少警戒を弛めた模様で武田社長の如きは職工側緩和の爲め旺に暗中飛躍を試み又自ら、労働者が此調子で肉薄して来れば會社は金を空しく銀行に預け拱手傍觀せねばならぬ事になる」と